

平成 22 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 ミクロン精密株式会社
 代表者名 代表取締役社長 榊原 憲二
 (J A S D A Q ・ コード 6159)
 問合せ先
 役職・氏名 管理部次長 遠藤 正明
 電 話 (023) - 688 - 8111 (代表)

平成 21 年 11 月期通期業績予想との差異並びに 期末配当予想の修正に関するお知らせ

この度、平成21年10月14日付「平成21年11月期第3四半期決算短信」において公表いたしました、平成21年11月期（平成20年12月1日～平成21年11月30日）の業績予想と配当予想について、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

(1) 連結 平成21年11月期 連結業績予想の差異と配当予想の修正

(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期 純利益	1株当たり 期末配当金
前回予想 (A)	2,946	154	281	151	64円05銭	25円00銭
今回修正 (B)	2,739	66	87	△38	△16円42銭	20円00銭
増減額 (B - A)	△206	△88	△193	△190	△80円47銭	△5円00銭
増減率	△7.0%	△57.1%	△68.8%	—	—	△20.0%
[ご参考] 前期実績 (平成20年11月期)	6,224	948	718	△92	△37円86銭	40円00銭

(2) 修正理由

①業績予想の差異

売上高につきましては、製品の売上計上基準を検収基準としておりますが、高精度化・高能率化製品を求める顧客の検収条件の一部が未達成のため、売上が翌期以降に繰越となる案件が見込まれること等から、前回予想を2億6百万円下回る27億39百万円となる見込みであります。

なお、これらの案件は、翌期に売上計上の予定であります。

営業利益につきましては、前述の売上高の減少に加え、高精度化・高能率化製品の技術的な調整等により売上原価が増加し、前回予想を88百万円下回る66百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、平成 21 年 12 月 25 日に開示しましたとおり、為替変動による外貨建資産等による為替差損（営業外費用）148 百万円を計上すること等により、前回予想を 1 億 93 百万円下回る 87 百万円となる見込みであります。

なお、この為替差損は、外貨建資産等による為替差損と、デリバティブ債権の期末時価評価による投資有価証券評価損を合算しております。

また、当期純利益につきましては、上記経常利益の減少に加え、前述の平成 21 年 12 月 25 日に開示しましたとおり、投資有価証券評価損（特別損失）90 百万円を計上すること等により、前回予想を 1 億 90 百万円下回る 38 百万円の損失の計上となる見込みであります。

②配当予想の修正

配当予想につきましては、当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当の継続に努力しております。しかしながら、平成 21 年 11 月期の業績が計画を下回る見込みとなったことにより、前回予想を 5 円 00 銭下回る、1 株当たり 20 円 00 銭の普通配当を実施する予定であります。

なお、平成22年11月期の連結業績予想につきましては、確定次第、直ちに公表いたします。

(3) 個別 平成21年11月期 前期実績との差異 (平成20年12月 1 日～平成21年11月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績（平成 20 年 11 月期）（A）	5,929	972	754	△79	△32 円 35 銭
今期予想（B）	2,616	128	140	△19	△8 円 05 銭
増減額（B－A）	△3,312	△844	△613	59	24 円 30 銭
増減率	△55.9%	△86.8%	△81.3%	－	－

(注) 差異理由につきましては、上記 (2) 修正理由と同様であります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。以上